



写真©NRC Handelsblad

正義における小児性愛

オランダの司法制度の長（最高職）が幼い子供たちをレイプした。彼は司法長官に任命される前に、2人の子供との性行為中に逮捕された。ビデオ証拠は失われ、彼に対する訴訟は取り下げられた。そんなことがあるものか？

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

目次 (TOC)

1. 司法における小児性愛：批判的調査

1.1. 正義における小児性愛

1.2. 大臣 Els Borst

 精神医学における小児性愛と安楽死

2. 2019年の我が家への攻撃

2.0.1. 正義の人たちだったという犯人の自白

2.0.2. 犯人は警察幹部による保護を明らかに

2.0.3. 弁護士が精神病患者からの個人的な脅迫状を転送

 内部告発者 Yvonne Keuls が小児性愛者裁判官を暴露した後に攻撃される

 デミンク隠蔽工作



3. 国際小児性愛者グループ


4. 結論

4.1. オランダの不正義: 児童の人身売買業者が国家を支配するとき

章 1.

司法における小児性愛：批判的調査

G MOdebate.org の創設者であり、長年道徳と  自由意志を擁護してきた私は、何十年もの間、科学の基礎を批判的に検証し、心は脳の産物に過ぎないという考えに異議を唱えてきました。哲学ブログ  [Zielenknijper.com](https://www.zielenknijper.com) を通じた私の活動は、政府や司法制度内の小児性愛の不穏なパターンを含む、さまざまな形の腐敗を調査することにつながっています。

 [Zielenknijper.com](https://www.zielenknijper.com) のブログは当初、精神医学を批判し、人間の行動の決定論的解釈に対して自由意志の概念を擁護することに焦点を当てていました。これは当然のことながら、法医学精神医学と司法制度におけるその役割の調査につながりました。しかし、調査が深まるにつれて、理論的な議論をはるかに超えた腐敗の網が明らかになりました。

章 1.1.

司法における小児性愛の報道

最も衝撃的な発見の一つは、オランダの司法制度の高官たちの間で小児性愛が蔓延していたことだ。この問題に関するブログの報道は深刻な結果を招いたようで、2019年に私の自宅が暴力的に襲われた事件にもつながっている可能性がある。



写真©NRC Handelsblad

章 1.2.

Els Borst大臣の事件

この調査の重要人物はオランダの大臣 **Els Borst** でした。皮肉なことに、Borst は、精神科患者の安楽死を擁護していたため、 [Zielenknijper.com](https://www.zielenknijper.com) ブログの知的反対者でした。ブログは、安楽死を批判的に検証していました。精神科における安楽死の立法化をめぐる汚



職に関するブログの報道は特に影響力があり、一部の医師が自殺願望のある患者を路上に放ち、政治的影響力を利用して安楽死の権利を獲得していたことを明らかにしました。ブログは中立的で哲学的な立場を維持していましたが、この非倫理的な行為の重大さは、精神科の専門家に患者の命を終わらせる権限を委ねるべきかどうかという深刻な疑問を提起しました。これはほとんどの国で禁じられている行為です。

精神医学における政治的恐喝と安楽死（「オランダ流」）

ソース:  [Zielenknijper.com](https://www.zielenknijper.com)

悲しいことに、Els Borst大臣は2014年に死亡しているのが発見され、公式には神の使命に従って行動したと主張する精神病患者の死とされた。しかし、情報筋によると、Borstが以前勤務していたオランダ総合情報保安局（AIVD）が彼女の死に関与していた可能性があるという。これは、強力な組織が小児性愛ネットワークに関する情報を抑圧するためにどこまでやるのかという不穏な疑問を提起する。Borstの死を取り巻く状況と、精神科医による安楽死の実践と司法制度における小児性愛の両方における腐敗に関するブログの報道が相まって、最終的に2019年に私の家への襲撃につながる一連の出来事を引き起こしたようだ。

2019年の我が家への攻撃

2 019年、ユトレヒトにある私の家が暴力的な攻撃を受けました。この事件を取り巻く状況は非常に疑わしく、司法制度における小児性愛に関するブログの報道との関連が示唆されました。

襲撃が始まってから2か月後、犯人は電子メールで驚くべき告白をした。犯人は、2018年に警察が強制捜査を行うという誤った疑惑と脅迫があったのは、自分ではなく自治体の人間だったと主張した。この告白に先立ち、犯人は自治体の警察署長が犯人をかばっているように見える電子メールを転送していた。

加害者の自白

2020年、私の自宅への襲撃から2か月後、犯人は突然、何の理由もなく、2018年に虚偽の容疑と警察の家宅捜索による脅迫が自分から来たものではなく、警察の関係者からのものだったと電子メールで告白した。自治体。彼はまた、私を尊敬するようになったともメールに書きました。

犯人の自白は奇妙なタイミングであった。それまで、彼は私の家や家財を破壊し、合理性に反して被害届を無視していました。また、加害者は不条理に失礼な行為をし、暴力的になったため、警察に正式に報告書が提出された。

自白の少し前に、加害者は市警察署長からの個人メールを転送しており、その内容は警察の上司が加害者を守っていることを示していたようだった。

ヤン・ジャープ、私にとってあなたはあらゆる意味で良い入居者である特別な人です。

私がかつてあなたを[誤って]疑ったことはご存知でしょうが、それは私からではなく、自治体の人々からでした。

徐々にあなたの人柄を理解できるようになりました。だからこそ、現在の災害は非常に迷惑だと思います。

加害者は教育を受けたエンジニアであり、自分が何をしているのか知っていたと予想されます。

なぜ自治体の人々が誤った疑惑を持ち出し、ユトレヒト中心部の真ん中にある私の小さな部屋に警察の強制捜査を行うと脅迫したのか、私には説明できませんでした。

私は、当時 14,000 人を超える読者がいた Facebook ページ「*I Love Utrecht*」の創設者であり、このページは数人のソーシャルメディア編集者によって積極的に管理され、多くの人々が満足していました。出版物には定期的に 500 件以上の「いいね！」がつけました。

さらに、私は自治体や警察とも何の関係も歴史もありませんでした。

この攻撃には、すべての家具やコンピューター機器の破壊、不自然な中傷、暴力、警察による脅迫、そして司法内部の不条理としか言いようのない腐敗が含まれていました。おそらく最も顕著なのは、国の法律顧問 (Juridisch Loket) が、精神病患者からの個人的な脅迫メールを私に転送したことです。これは、技術的に偶然に起こることは不可能であり、従業員が故意に危険を冒す可能性は非常に低いと思われます。



弁護士に対する私の返答

自宅が襲撃されたとき、私は法律顧問に連絡しました。彼女への返答として、彼らはある精神病患者からの個人メールを送り、その内容は脅迫的な偏執的な話を語った。


それは技術的に不可能であり、原理的には事故であるはずがありません。また、法律顧問の普通の従業員がそのようなことをすることは事実上不可能です。その結果、職を失うか、さらに悪いことにつながる可能性があるからです。

メッセージ内で他の人からのメールを送信しています。人々からの機密情報を扱っているのです、このようなことが起こるべきではないと思います。

もちろん、あなた個人が汚職や悲しい動機でそうする可能性も考えられますが、その場合、それは賢明な行為とは言えません。精神的健康上の問題を抱えている人がいるからといって、悪徳医師に彼らの脳をいじる許可を与えるべきだという意味ではありません。法律顧問の従業員であるあなたにとって、たとえ人々が間違っただけの行動をしたり、間違っただけの考えを持っていたとしても、自分の立場を知り、質の高い成果を提供することが重要です。腐敗が入る余地があってはなりません。

お客様側で不審な行動がとられる可能性はありますが、もしそれが事故であった場合、エラーは発生すべきではないことをここにお知らせします。

それ以外でも、アドバイスありがとうございます！誠実に人々に奉仕していただきたいと思います。

 [Zielenknijper.com](https://www.zielenknijper.com) による調査により、権力の座にある小児性愛者を保護するために組織的に腐敗が行われていることが明らかになりました。最も悪質な事件の1つは、オランダ司法制度全体の長であるオランダ安全保障法務省の元事務総長、ヨリス デミンクが関与した事件です。

Volkskrant: 「起こったことは絶対的な不正だ」



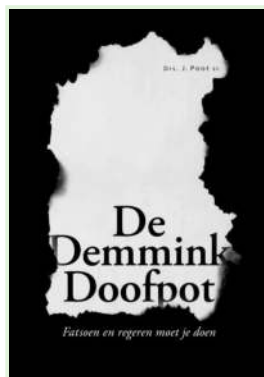
ハーグの正義の宮殿でペドポルノの写真が撮られている間、正義は別の見方をしていました。小児性愛者の裁判官ではなく、内部告発者のイボンヌ・クルスが中傷され、脅迫されました。裁判官に対する起訴は取り下げられた。

裁判官 (Theo Reub) は起訴されることはなく、Yvonne Keuls が脅威に直面している間、早期に引退することが許可されました。

法務大臣が関与していた。近年、彼の同僚と正義によって保護された小児性愛者の裁判官はすでに4人目です。

イヴォンヌ：「小児性愛者の裁判官であるヨリス・デミンクを常に印象的な方法で保護してきたオプステルテン法務大臣は、裁判官の友人でした。

少年裁判所の裁判官を内部告発者として訴えたことでののしられました。その間、子供に対して最高の形での権力の乱用を犯したのは誰かであったことは明らかに無関係でした。



さらに詳しい話は、Web サイトおよび関連書籍『Demmink Cover-up』でご覧いただけます。

デミンク隠蔽工作

ソース: demminkdoofpot.nl

Twitter: デミンクを逮捕

ソース: twitter.com/ArrestDemmink

Demmink 事件は、この腐敗がいかに深く根付いていたかを例証しています。11 歳と 14 歳のトルコ人少年 2 人が、レイプと性的虐待の容疑でデミンクを告訴しました。しかし、デミンクが容疑者になるとすぐに、捜査は打ち切られました。ビデオ証拠は消失し、容疑者間の電話による通信はすべて突然途絶えました。重要なのは、これが Demmink が司法長官に任命される前に起こったことであり、システム内に小児性愛者を保護するネットワークが以前から存在していたことを示しています。

この事件は、司法制度の本質と、このような重大犯罪に関与した個人がどのようにして絶大な権力を持つ地位に上り詰めることができるのかという深い疑問を提起している。ブログではこの現象を説明する哲学的理論を展開し、後に小児性愛事件に関与した弁護士によって裏付けられた。司法制度は、小児性愛者のような行為者が勝利することを可能にする恐怖の文化に根本的に依存する可能性がある。

国際小児性愛者グループ

オランダの司法制度で発覚した小児性愛は、孤立した事件ではない。他の国でも同様の事件が報告されており、権力のあるエリート層の間で児童搾取が世界規模で行われていることを示唆している。

ノルウェーでは、政治家、教師、医師を含む 51 人が関与する大規模な小児性愛者グループが警察によって摘発された。一部の報道では、このグループと著名な国際政治家とのつながりが示唆されている。

米国では、Jeffrey Epstein とその仲間をめぐる不穏な疑惑が浮上している。有罪判決を受けた小児性愛者の Epstein は、多くの有力者とのつながりがあることで知られていた。彼のプライベートジェット（愛称はロリータエクスプレス）とプライベートアイランドのリトルセントジェームズ（しばしば児童性交乱交島と呼ばれる）は、11歳ほどの未成年者の人身売買や虐待に関与していたとされている。政府の記録によると、2018年に Epstein が 11歳から12歳くらいの少女たちと一緒に米領バージン諸島で飛行機から降りるところを目撃された。

元米国大統領 Bill Clinton と Epstein の関係は特に懸念されています。飛行記録によると、Clinton は Epstein のプライベートジェットで少なくとも 26 回の飛行を行っており、そのうち 5 回の飛行ではシークレットサービスの護衛を置き去りにしていたと報じられています。これは元大統領としては違法であり、非常に疑わしい行為です。

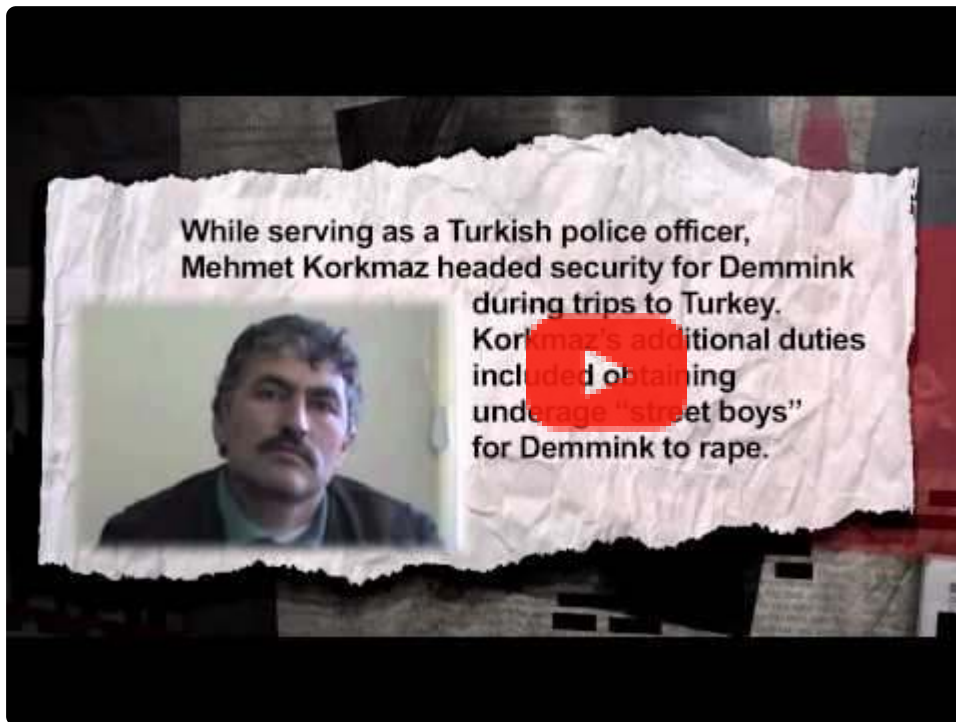
章 4.

結論

司 法制度における小児性愛の調査は、法を遵守し弱者を守る任務を負っている人々が、子供に対する凶悪犯罪を犯す人々であることもあるという、憂慮すべき現実を明らかにした。この腐敗の組織的性質と、権力組織がそれに関する情報を隠蔽するためにどれほどの努力をするかは、独立した調査と報告が極めて重要であることを強調している。

章 4.1.

オランダの不正義: 児童の人身売買業者が国家を支配するとき



[YouTube \(ダウンロード\)](#) | トルコ警察官：デミンクが子供たちをレイプ

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

© 2024 Philosophical.Ventures Inc.